

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777 (通話料無料)
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 http://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむをえない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第2部

ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月(シヅキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州（現在の山口県）の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城（指月城）から名をお借りしたのが命名の由来です。



株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807
URL www.shizuki.co.jp



株主通信

第86期 第2四半期報告書
平成25年4月1日～平成25年9月30日

メッセージ

パワーエレクトロニクス用
コンデンサで、
世界ナンバー1を目指す。

特集:シヅキのツツキ

太陽光発電
(メガソーラー)



証券コード 6994 / 東証二部

株式会社 指月電機製作所



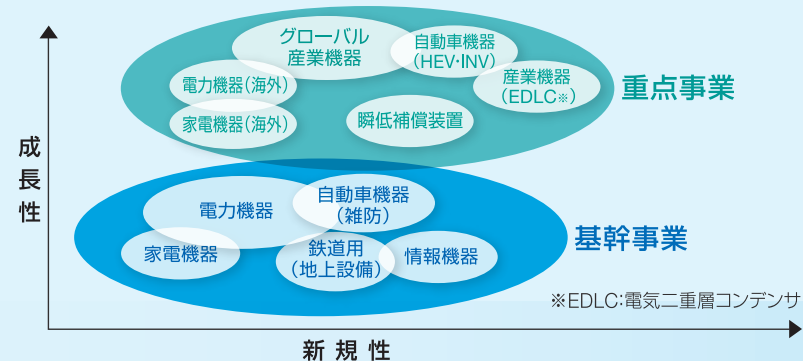
AIM2018達成に向けた 新・経営戦略、いよいよ始動。



代表執行役社長
伊藤 薫

第86期上期は、売上高としては前年とほぼ横ばいとなったものの、シヅキの原点であるJIS(S(シムス))を徹底したことで、営業利益を26%伸張させることができました。JIS(Sとは、社内の生産体制を常に検証し、より効率的で短納期、低コストな生産方法を探求し続ける独自のマネジメントシステムです。社員一人ひとりが現場レベルでの改善を重ねたことが、結果につながったと考えております。具体的な商品としては、メガソーラーを中心とする太陽光発電向けのコンデンサなどが好調に推移しています。太陽光発電は依然としてニーズが大きく、さらなるシェアの拡大を目指してまいります。

そしてこの度、私たちは、新たな中長期経営計画「AIM2018」の数値目標と、目標達成へのドメイン別戦略を策定いたしました。安定した収益が見込める「基幹事業」と、これからの発展が期待される「重点事業」を分けて、11のドメインを定め、新たな目標の達成に向けて動き出しています。



AIM2018 事業領域の11ドメイン



事業セグメント

- コンデンサ・モジュール
- 電力機器システム
- 情報機器システム

電気をマネジメントするさまざまな商品を開発・生産して、お客様に提供し、社会に貢献する。

指月総合マネジメントシステム JIS(S(シムス))

社員一人ひとりが「品質・コスト・納期」という経済的視点や、「再利用・負荷の減少・エネルギーの再生」という環境的視点を持ち、業務に取り組む。

パワーエレクトロニクス用コンデンサで、世界ナンバー1を目指す。



グローバル産業機器を、新たな成長の柱に。

AIM2018の中でも、特に重点となるドメインは「グローバル産業機器」です。グローバルとは、日本を含めた世界の市場を指します。これまでの中長期経営計画AIM2013では、国内向けの産業機器と海外向けを別のドメインとして区別していましたが、AIM2018では統合してグローバル産業機器としました。

今や、たとえアジアの市場であっても、欧州や北米などのメーカーとの国際競争は避けられません。今後、日本国内でも海外メーカーとの競争を強いられるケースが増える予想されます。そのような中、

真の競争力を身につけ、世界のどの地域であっても海外メーカーと対等以上の価値を提供していく。こうした決意を込めての「グローバル」です。

国内において実績を持つ高速鉄道や、再生可能エネルギーとして世界的に需要が高まる風力発電や太陽光発電、天然ガスなどの資源を輸送するパイプライン、鉄鋼所の電気炉など、社会の根幹を支える産業機器に向けて、付加価値の高いパワーエレクトロニクス用コンデンサを供給し、シェア拡大を目指してまいります。

技術力の強化により、圧倒的な競争力を。

大きなエネルギーを生み出すパワーエレクトロニクス用コンデンサは、高温に耐える「高耐熱性」、高電流に耐える「高耐電流性」、装置を小型化するための「高エネルギー密度化」など、高度な技術を必要とします。これらの性能を高めていくことで、世界一を誇る競争力を獲得できると考えています。

フィルムコンデンサにおいて、他社を圧倒する経験を持つシヅキ。長年培ってきた基礎技術の体系化や、業界トップ企業との先進的な共同開発などを通し、性能の向上を目指します。また、性能を向上

組織体制を一新。営業面でも国際競争力を高める。

2013年10月、シヅキは営業体制の改革を行いました。東京のお客様は東京の営業が、関西のお客様は関西の営業が、地域ごとに担当していた従来の体制から、エリアは関係なく、産業用コンデンサはパワエレ営業部、システム商品はシステム営業部というように、商品・市場によって営業担当者を部門分けする体制に移行したのです。

これにより、営業一人ひとりがさらに商品に精通し、担当部門のスペシャリストとなることを目指します。そして、開発段階から商談に参入できる機会や、シヅキの技術特長を活かしたソリューション型の提案を増やし、提案力と対応力を強化してまいります。もちろん海外の市場においても、この強みは発揮されるものと考えています。

株主の皆様におかれましては、シヅキの新たな一歩にご期待いただくと共に、今後とも変わらぬ

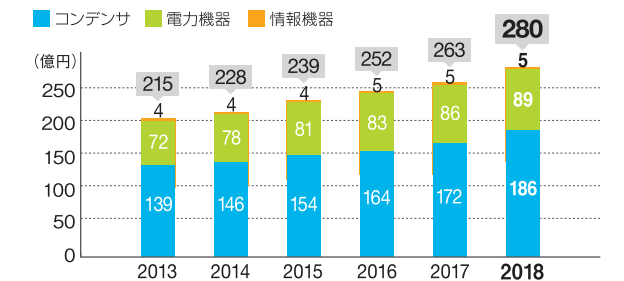
できたとしても、コストが上昇してしまえば競争力を損ねてしまいます。価格面でもグローバル競争を勝ち抜けるように、今後も「JIS(シムス)を徹底してまいります。

パワーエレクトロニクス用コンデンサにおける性能向上目標

	2012年度	2016年度
高エネルギー密度化(小型化)	100	→ 80(体積)
高耐電流	100	→ 120(性能)
高温対応	100	→ 120(性能)

ご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

AIM2018 売上高目標



2018年度に達成すべき経営指標

売上高	総資産経常利益率 (ROA)
280億円	10.8%



シヅキから旅立ち、
社会を支えるコンデンサたち

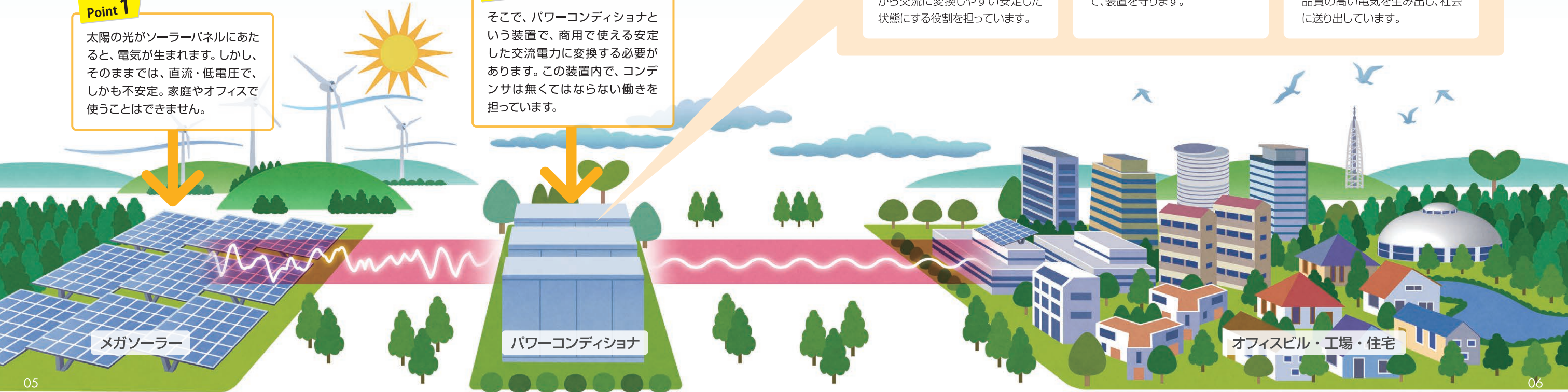
vol.1 **太陽光発電 (メガソーラー)**

メガソーラーで生まれた再生可能エネルギーを、安定した電気として、社会に届ける。

世界中でエネルギーや環境への関心が高まる中、太陽光発電への注目が一段と高まっています。シヅキのフィルムコンデンサは、特に、メガソーラーと言われる大規模な太陽光発電設備に強みを発揮。環境にやさしい再生可能エネルギーの普及に貢献しています。

Point 1
太陽の光がソーラーパネルにあると、電気が生まれます。しかし、そのままでは、直流・低電圧で、しかも不安定。家庭やオフィスで使うことはできません。

Point 2
そこで、パワーコンディショナという装置で、商用で使える安定した交流電力に変換する必要があります。この装置内で、コンデンサはなくてはならない働きを担っています。



▶ **パワーコンディショナの中で、コンデンサはさまざまな働きをしています。**

<p>電圧を安定させる 平滑用コンデンサ</p> <p>電圧を安定させて、流れを整える！ 電気の交通整理係</p> <p>整える</p> <p>太陽電池から生まれた電気は、電圧にばらつきがあります。平滑用コンデンサは、バラバラに入力された電気を一定の電圧に整え、直流から交流に変換しやすい安定した状態にする役割を担っています。</p>	<p>ノイズから装置を守る スナバ用コンデンサ</p> <p>危険なノイズからパワコンを守る！ 装置のガードマン</p> <p>守る</p> <p>太陽電池からパワーコンディショナに電流が送られてくるたび、実は、火花のようなサージが発生しています。このサージを除去して、装置を守ります。</p>	<p>品質の高い電気に仕上げる ACフィルター用コンデンサ</p> <p>より美しい電気に仕上げる！ 電気のお掃除屋</p> <p>仕上げる</p> <p>平滑用コンデンサで電圧を安定させた電気を、さらにキレイな状態に整えるコンデンサ。商用電力として、誰もが安心して使える品質の高い電気を生み出し、社会に送り出しています。</p>
---	---	---



国内最大級の空港向け表示装置を納入



フライト案内表示装置の例

国際空港に向けて、国内最大級となるフライト案内表示装置を納入。情報機器システム部門の伸張の要因となりました。これまで数々の交通表示装置を手がけてきたシツキ。この実績を励みに、さらなる弾みをつけ、今後も付加価値の高い表示装置を展開してまいります。



秋田指月が厚生労働大臣表彰を受賞



「障がい者雇用支援月間」にあたる2013年9月、障がいを持つ方を積極的かつ安定的に雇用している障がい者雇用優良事業所として、秋田指月が厚生労働大臣表彰を受賞しました。秋田指月では、障がいを持つ従業員が長期間にわたって安定して働ける環境を整えています。これからも、こうした職場環境を守り、より向上させていきます。



さまざまな展示会へ出展



TECHNO-FRONTIER 2013の様子

「電気エネルギーのマネジメントを通じて、省エネ、環境共生に貢献する指月のテクノロジー」をテーマに各種展示会でさまざまな商品、当社の技術力を紹介しました。昨年、経済産業省 近畿経済産業局主催の展示会「省エネフェア」にも出展し、当社の省エネ機器をご紹介します。

今年度
出展した
展示会

- 5月/第61回電設工業展 JECA FAIR 2013
- 7月/TECHNO-FRONTIER 2013
- 11月/SCF システムコントロールフェア
- 11月/省エネフェア



省エネフェア
チラシ

岡山指月 創立50周年

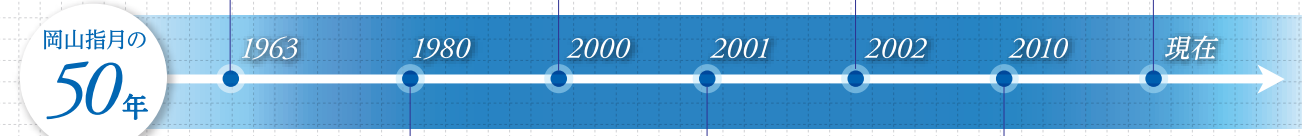
半世紀の感謝と共に、 さらなる発展を目指します。

1963年、指月電機製作所の「分工場」として岡山県総社町（現・総社市）に誕生した岡山指月。総社町の熱心な企業誘致や、自動車用コンデンサのお客様との距離が近かったことなどにより、自動車用コンデンサの主力工場となるべく創業を開始しました。設立当時の社名は、株式会社指月電機総社製作所。旧池田中学校の校舎を、工場としてそのまま使用していました。それから半世紀、シツキは「工場の多能工化（マルチ化）」を

進めており、岡山指月でも、これまで成長を牽引してきた自動車用コンデンサだけでなく、西宮工場や九州指月が担ってきた「電力機器」、秋田指月の「家電機器用コンデンサ」などの生産を強化しています。50年前の創業から現在まで、岡山指月の歴史を支えてくださった多くの皆様に深く感謝いたします。そして、次の50年に向けてさらなる躍進を続ける岡山指月を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



マルチ工場化、
新市場への挑戦
さらなる躍進へ



「IIS(シムス)活動が始まった
1980年代の生産風景

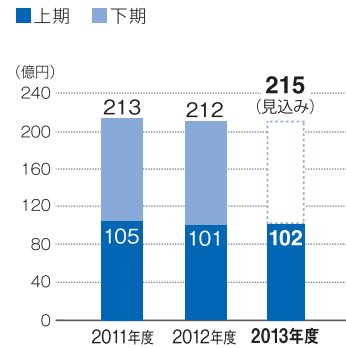


新工場完成

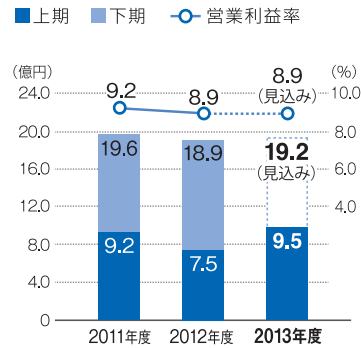


本社R&Dセンター完成

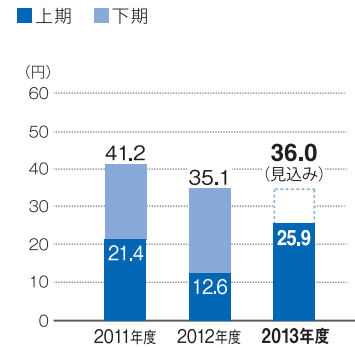
売上高



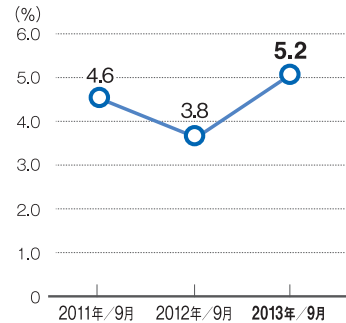
営業利益・営業利益率



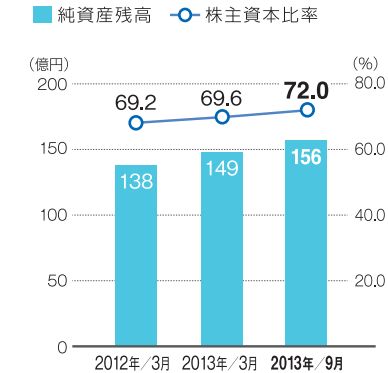
1株当たり利益(EPS)



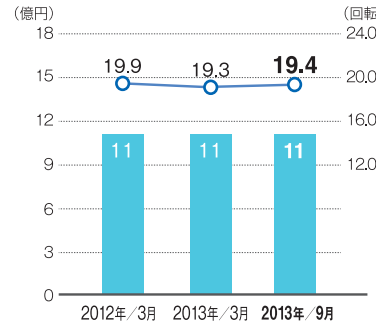
総資産経常利益率(ROA)



純資産残高・株主資本比率



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



Point

業績面では、売上高、利益は2012年度から2013年度で電力機器の増加を主体に、増収、増益の見通しです。一方で、財務体質面では、株主資本利益率は着実に改善しています。当社の強みである、ものづくりの効率性を表す棚卸資産回転率は高レベルをキープしています。

(注)十万円の位を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第85期 第2四半期	第86期 第2四半期
	平成24年9月30日現在	平成25年9月30日現在
資産の部		
流動資産	8,622	10,047
現金及び預金	2,842	4,158
受取手形・売掛金	4,418	4,441
棚卸資産	1,071	1,110
その他資産	290	336
有形固定資産	9,892	10,040
無形固定資産	49	37
投資その他の資産	1,261	1,512
資産合計	19,826	21,638
負債の部		
流動負債	3,730	3,365
固定負債	2,115	2,580
負債合計	5,846	5,945
純資産の部		
株主資本	13,723	14,961
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	3,308	3,308
利益剰余金	6,640	7,881
自己株式	△1,227	△1,230
その他の包括利益累計額	190	613
少数株主持分	65	117
純資産合計	13,979	15,692
負債純資産合計	19,826	21,638

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第85期 第2四半期	第86期 第2四半期
	平成24年4月1日から平成24年9月30日まで	平成25年4月1日から平成25年9月30日まで
売上高	10,079	10,190
売上原価	7,043	7,026
売上総利益	3,036	3,163
販売費及び一般管理費	2,281	2,210
営業利益	754	953
営業外収益	121	223
営業外費用	131	71
経常利益	744	1,104
特別利益	-	116
税金等調整前四半期純利益	744	1,221
法人税、住民税及び事業税	296	440
法人税等調整額	63	1
少数株主損益調整前四半期純利益	384	779
少数株主利益	18	24
四半期純利益	366	755

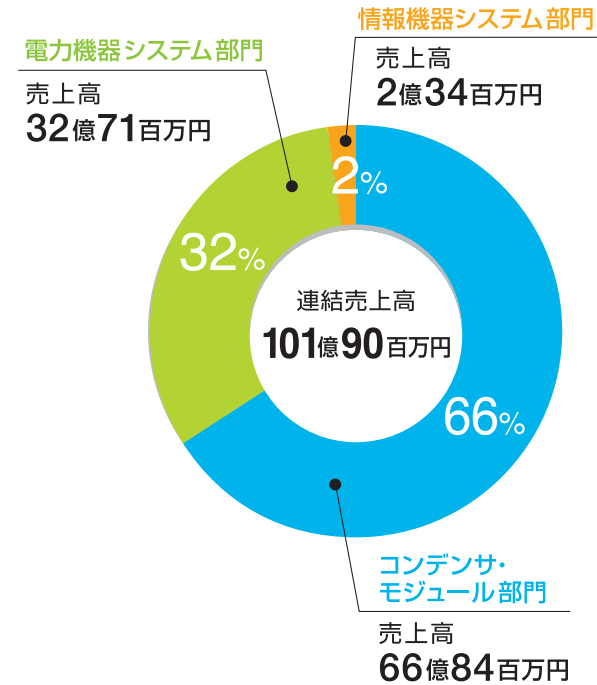
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

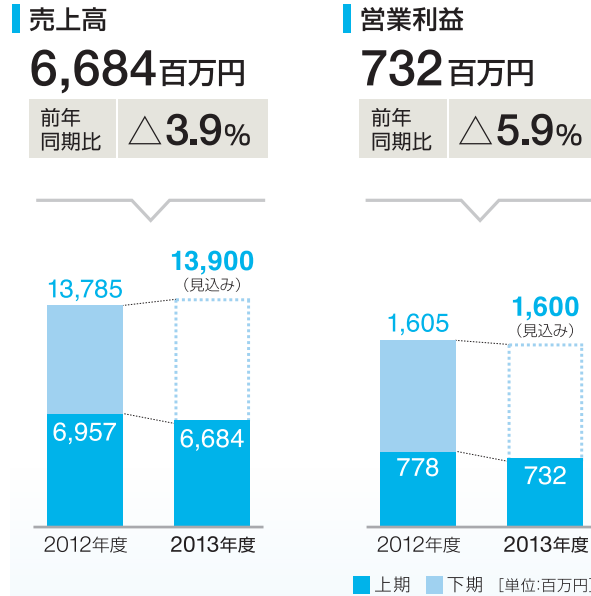
科目	第85期 第2四半期	第86期 第2四半期
	平成24年4月1日から平成24年9月30日まで	平成25年4月1日から平成25年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	639	1,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△334	△478
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130	△137
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	0
現金及び現金同等物の増減額	171	577
現金及び現金同等物の期首残高	2,670	3,581
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,842	4,158

セグメント情報

■ 部門別売上高比率 (2013年9月)



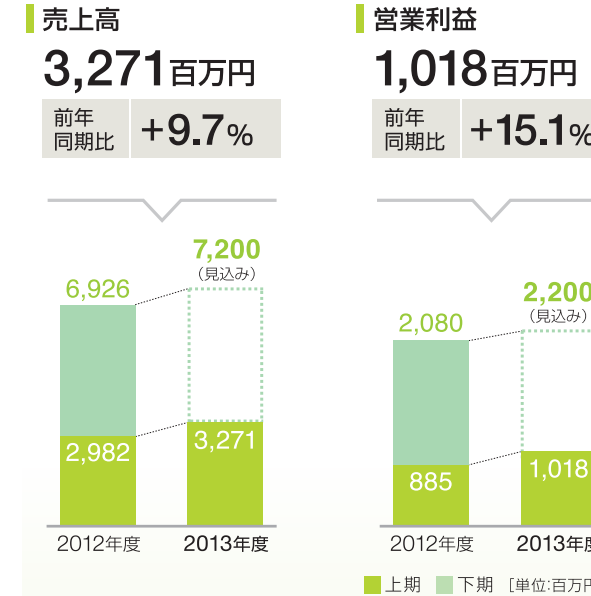
売上高構成比率 66% コンデンサ・モジュール部門



太陽光発電用コンデンサ (MEC-DL)

国内の太陽光発電装置の需要拡大により、関連するコンデンサが大幅に伸びました。また、新商品のラインナップにより、大型パワーコンディショナ用のコンデンサのシェアが拡大しました。

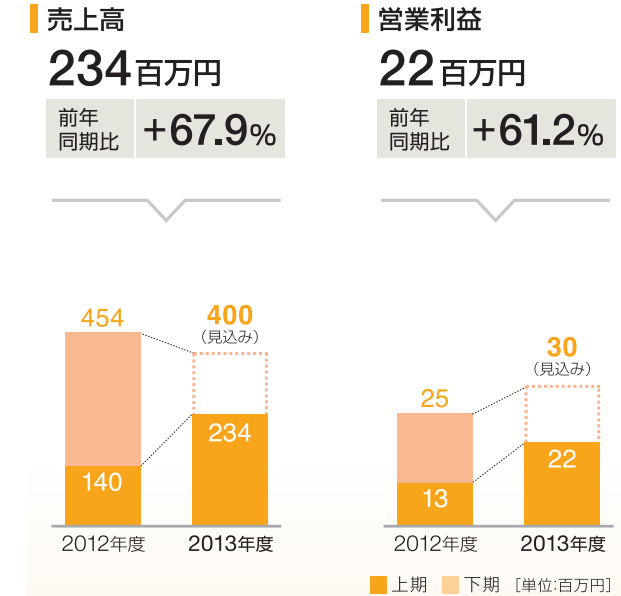
売上高構成比率 32% 電力機器システム部門



瞬低補償装置 (SAG-Backup)

瞬時電圧低下補償装置について、新規の需要開拓に成功し、海外向けの大口案件を獲得しました。お客様の多様化するニーズに対応し、シェアアップを図ってまいります。

売上高構成比率 2% 情報機器システム部門



生産管理板	
計画数	2354個
実績数	2459個
差異	+105個
遅・早時間	+4分42秒

工場向け表示装置 (スマート管理板)

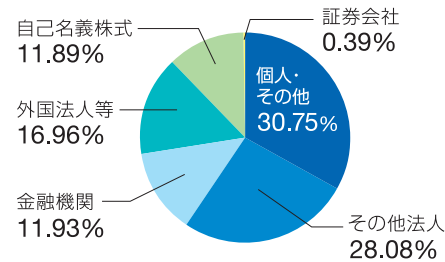
新商品として、工場向けの生産管理板『スマート管理板』を販売開始しました。リアルタイムに生産数や生産時間が表示されるので、現状把握と生産性の改善ができ、お客様にご好評をいただいております。

※セグメント別の利益については、調整額△821百万円があります。

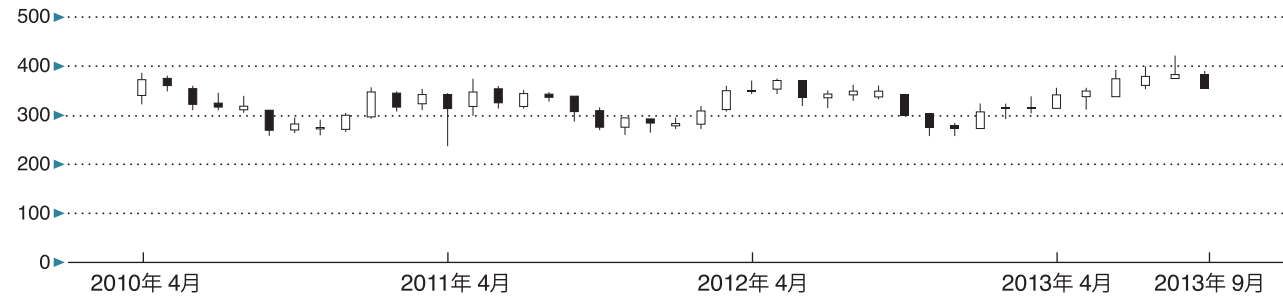
株式の状況

会社が発行する株式の総数	128,503,000株
発行済株式の総数	33,061,003株
株主数	3,732名

所有者別株式数分布状況



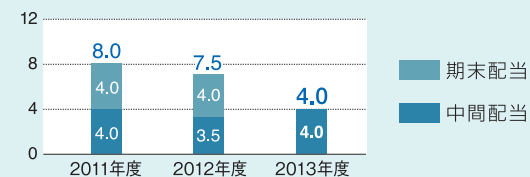
株価の推移(円)



当期中間配当金 1株当たり **4円**

1. 中間配当金 1株当たり4円
2. 支払対象者 平成25年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
3. 支払開始日 平成25年11月29日(金)

1株当たりの配当実績 (単位:円)



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	21.1
ゴールドマンサックス インターナショナル	4,232	12.8
株式会社りそな銀行	1,299	3.9
指月協友持株会	992	3.0
株式会社みなと銀行	925	2.7
日本スタートラスト 信託銀行株式会社	648	1.9
株式会社村田製作所	571	1.7
株式会社ノーリツ	560	1.6
指月電機製作所自社株投資会	553	1.6
ノムラピービーノミニーズ ティーケーワンリミテッド	406	1.2

会社概要

商号 株式会社指月電機製作所
 英文名称 SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
 本店所在地 〒662-0867
 兵庫県西宮市大社町10番45号
 TEL:0798-74-5821
 ホームページ <http://www.shizuki.co.jp/>
 創業年月日 1939年 3月10日
 設立年月日 1947年 9月1日
 資本金 5,001,745,595円
 グループ人員数 1,309名
 主要取扱業務 ■コンデンサ及び関連機器・装置
 ■電力機器・装置
 ■情報機器・装置
 の製造販売
 営業拠点 ●東京支社
 ●東京支店/関西支店/中部支店
 ●札幌営業所/仙台営業所/日立営業所
 広島営業所/福岡営業所
 ●マレーシア連絡事務所

役員

取締役

取締役会会長	梶川 泰彦
取締役	伊藤 薫*
取締役	友松 哲也*
取締役	山本 則彦
取締役	増田 幹登*
取締役	鳥川 光春*
取締役	森 公利*

*は執行役を兼任 ※は社外取締役

執行役

代表執行役社長	伊藤 薫
専務執行役	足達 信章
常務執行役	谷口 義裕
常務執行役	友松 哲也
執行役	矢部 久博
執行役	小田 敦
執行役	光谷 信雅
執行役	藤原 健吾

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	490,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	200,000千円	100.0

販売・生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシツキ株式会社 (米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千バーツ	70.0